

歯科医学特論

《キーワード》 インプラント

《担当者名》 別途周知

【概要】

近年において補綴治療の究極の目標は、歯の欠損によって低下した機能に関連するQuality of Life (QOL)の向上を通じて、全身の健康維持とQOLの向上に貢献することにまで高められている。20世紀後半からオッセオインテグレーションインプラントは様々な研究結果が報告され、十分な科学的根拠に基づくオッセオインテグレーションインプラントは、20世紀末には補綴治療に新しい時代をもたらした。そして現在、口腔インプラント治療は患者のQOL向上に有効な治療法として確立したと思われる。このコースは、口腔インプラント治療の実践に必要な知識と手技について解説する。

【学修目標】

1. 欠損補綴における口腔インプラント治療の臨床的意義を説明できる。
2. 口腔インプラント補綴の適応症と禁忌症を説明できる。
3. オッセオインテグレーションインプラントのシステム（基本構造、表面性状、連結法、埋入術式）を説明できる。
4. 口腔インプラント成功の基準、生存率、リスク因子を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	欠損補綴における口腔インプラント治療の臨床的意義を講義		
2	口腔インプラント補綴の適応症と禁忌症を講義		
3	オッセオインテグレーションインプラントのシステム（基本構造、表面性状、連結法、埋入術式）を講義		
4	口腔インプラント成功の基準、生存率、リスク因子を講義		

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【備考】

別途時間割を配付する。

【学修の準備】

1. 事前に提示した到達目標に合わせて関連資料の収集・文献講読をしておくことが望ましい。
2. 事前に配付する文献講読、及び関連資料の収集と読解をして、プレゼンテーションのための資料作成、理解した点や疑問を整理して臨む。